



# 青山神明遺跡

## 発掘だより 6号

令和7年1月7日発行

### ◆青山神明遺跡の地元説明会を開催します◆

現在、愛知県埋蔵文化財センターでは、愛知県基幹的広域防災拠点整備事業に先立ち発掘調査を実施しています。調査で見つかった弥生時代（約2000年前）から江戸時代（約200年前）までの調査成果について説明会を開催します。

- ▼とき 令和7年1月18日(土)午前11時から
- ▼ところ 青山神明遺跡発掘調査現場(青山字神明地内)神明公園の南西側
- ▼内容 発掘調査成果を担当調査員が説明し、出土品を展示します。
- ▼参加費 無料
- ▼当日問合せ先 TEL 080-1571-4982(鈴木正貴)
- ▼その他 遺跡内には足元の悪い場所があります。履き慣れた靴でお越しください。降雨などの場合、安全上、当日現地に入れない場合もあります。

### ◆青山金剛遺跡の調査◆

今号では青山金剛遺跡の成果を紹介します。

愛知県基幹的広域防災拠点整備事業(代替地)に伴う事業として令和6年9月～11月にかけて発掘調査を行いました。青山金剛遺跡は青山神明遺跡に近接していますが、異なる遺跡として県文化財マップに令和5年に登録された遺跡です。県埋蔵文化財調査センターの試掘調査の結果、古代から中世までの集落遺跡と推定されています。

調査は24A区と24B区に分けて行いました。

### ◆青山金剛遺跡の調査概要◆

主な遺構は、古代(奈良・平安時代)の竪穴建物跡が4基、中世(鎌倉・室町時代)の溝が6条以上、掘立柱建物跡が1棟以上です。



説明会を行う青山神明遺跡 24Fa区  
令和6年12月13日時点の調査状況

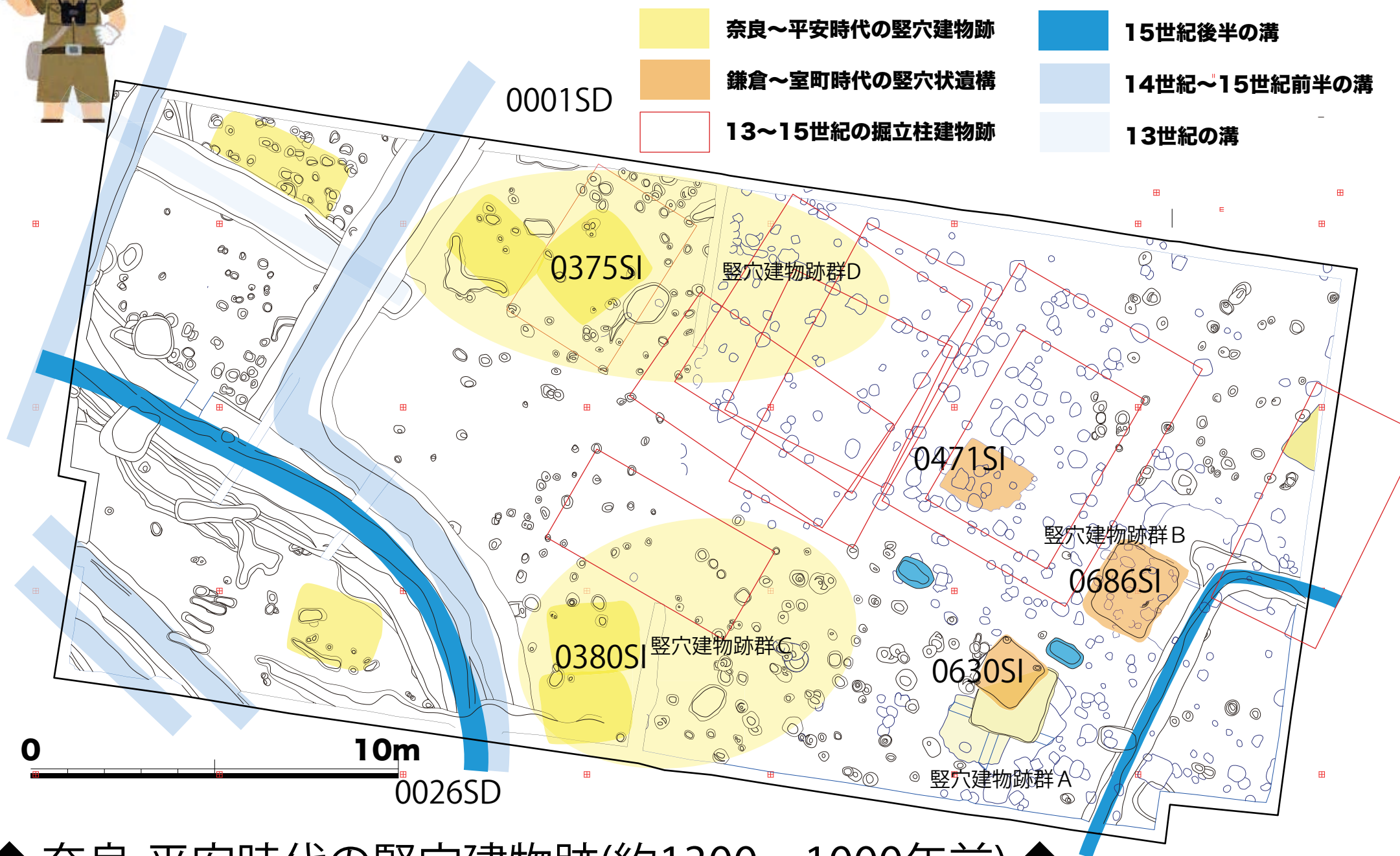
編集



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター  
HP <http://www.maibun.com>  
TEL: 0567-67-4163



# 青山金剛遺跡 調査成果



## ◆ 奈良・平安時代の竪穴建物跡(約1300～1000年前) ◆

今回見つかった竪穴建物跡は、一辺が2～4m前後の小型の角が丸い長方形で、可能性のあるものを含めると15基あります。このうち4本の<sup>しゅちゅうけつ</sup>支柱穴が確認できたのが5基です。須恵器の小破片などが出土しています。

## ◆ 鎌倉・室町時代の屋敷跡(約800～600年前) ◆

今回見つかった遺構で注目されるのは、溝と掘立柱建物跡です。鎌倉時代(約800年前)の溝は1条(0024SD)が<sup>やまぢゃわん</sup>確認され、<sup>はじき</sup>尾張型山茶碗や土師器皿が少量出土しました。また、作業場と想定される<sup>たてあなじょういこう</sup>竪穴状遺構3基(0471SI・0630SI・086SI)も発見されました。鎌倉時代末から室町時代(約700年前)の溝は折れ曲がる溝0001SDとこれに並行する溝0019SDや0003SDなどがあります。溝0001SDの東側には掘立柱建物跡(図の赤線)が多数存在することから0001SDの東側は<sup>きょじゅういき</sup>居住域(屋敷)だった可能性があります。室町時代(約600年前)では0001SDを一旦埋め立てて新たに蛇行する溝0026SDが掘られました。

## ◆ まとめ ◆

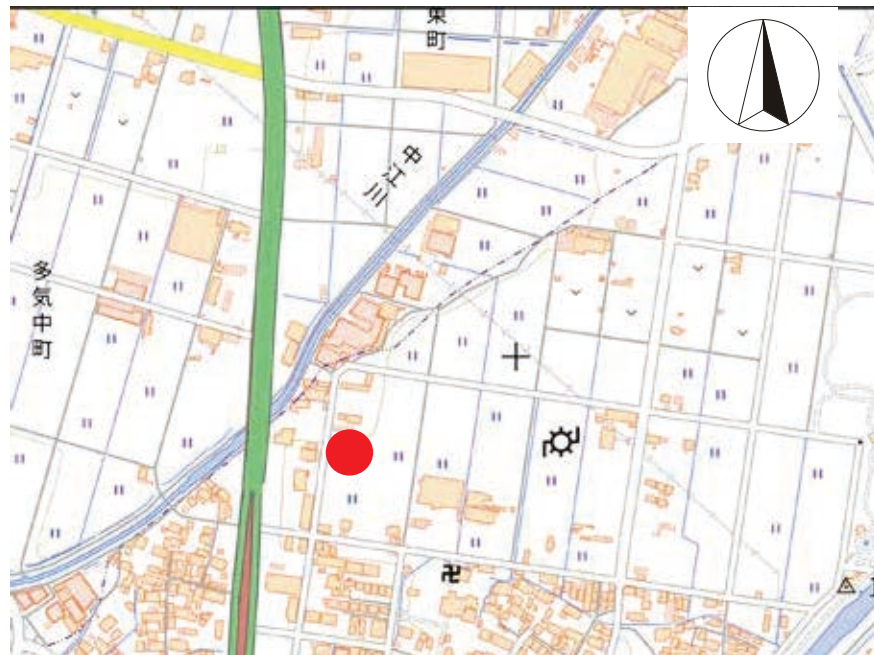
青山金剛遺跡では、奈良時代から平安時代には竪穴建物、鎌倉時代から室町時代までは掘立柱建物に住んでいた区域だったことがわかりました。



# 青山金剛遺跡 発掘調査写真



奈良・平安時代の竪穴建物跡（南東から撮影）



青山金剛遺跡 の位置図（赤丸）



鎌倉時代の溝0024SDの遺物出土状況（東から撮影）



鎌倉・室町時代の溝0002SDと0003SD（北から撮影）



鎌倉・室町時代の柱穴0613SPの遺物出土状況



室町時代の溝0026SD（西から撮影）



24A区全景（上から撮影：黄色線が掘立柱建物跡の位置）



24A区全景（上から撮影）